

2025年12月19日

各位

三洋貿易株式会社  
代表取締役社長 新谷正伸

### 取締役会の実効性評価

三洋貿易は、コーポレート・ガバナンスの実効性の維持・向上を目的とし、毎年取締役会の実効性を評価しており、2025年9月期においても匿名性を確保したうえで、自己評価・分析を行いました。実施要領および評価結果の概要は以下のとおりです。

#### (1) 実施要領

##### 1. 評価対象

2025年9月期取締役9名（うち社内取締役5名（うち監査等委員1名））

##### 2. 評価プロセス

評価対象者に無記名式のアンケートを実施し、集計結果の報告を踏まえたうえで、2025年12月の定時取締役会において分析・議論・評価を実施

##### 3. 評価項目

- ・ 取締役会の構成
- ・ 取締役会の運営
- ・ 取締役会の議論
- ・ 取締役会のモニタリング機能
- ・ 社外取締役（監査等委員含む）のパフォーマンス
- ・ 取締役（監査等委員含む）に対する支援体制
- ・ トレーニング
- ・ 株主（投資家）との対話
- ・ 自身の取組み

#### (2) 評価結果の概要

当社取締役会の実効性は、引き続き確保されていることを確認いたしました。

具体的には、「構成の多様性」「資料提供時期」「審議時間確保」の3項目において目立った改善が見られ、取締役会運営の基盤が強化されたと認識しています。また、経営陣報酬や内部統制などモニタリング領域でも評価が上昇し、取締役会としての監督機能が一定程度向上していることが確認されました。前年の課題であった長期経営計画の議論深化については、定期的な進捗報告と議論の機会を設けることで一定の改善が見られました。

一方、戦略的議論の深度、CEO後継者計画への関与、社外取締役への情報提供体制

というガバナンス領域に関する課題があがり、各項目について共有を図りました。今後も、継続的に取締役会の実効性向上に取り組み、戦略的議論の深度向上および中長期的な企業価値向上を追求してまいります。

以上